平成27年10月6日

滝川市議会議長 水 口 典 一 様

滝川市長 前 田 康 吉

経済建設常任委員会への説明員の出席について

平成27年9月29日付け滝議第113号で通知のありました経済建設常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願ひします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願ひします。

記

滝川市長の委任を受けた者

副市長	千 田 史 朗
副市長	鈴 木 光 一
総務部長	中 島 純 一
総務部次長	高 橋 一 美
総務部財政課長	堀 勝 一
総務部財政課主幹	堀之内 孝 則
総務部財政課係長	万 年 英 人
産業振興部長	中 川 啓 一
産業振興部産業振興課長補佐	諏 佐 孝 孝
産業振興部産業振興課係長	壽 崎 美 穂
産業振興部商業観光課主幹	日 口 裕 二
産業振興部商業観光課長補佐	運 上 琢 諭
産業振興部商業観光課係長	後 呂 典 輝
産業振興部商業観光課係長	今 安 紀 子
産業振興部駅前周辺整備課長	加 地 幸 治
産業振興部駅前周辺整備課長補佐	丸 藤 斉 士
産業振興部駅前周辺整備課係長	林 裕 樹
産業振興部農政課長	高 橋 雅 志
産業振興部農政課主幹	武 藤 一 男
産業振興部農政課課長補佐	亀 田 忠 洋
産業振興部農政課長補佐	菊 田 健 二
産業振興部農政課係長	壽 永 七 月 男
建設部長	大 平 正 一
建設部次長	高 瀬 慎 二 郎
建設部土木課長	山 崎 智 弘
建設部土木課長補佐	千 葉 一 稔
建設部土木課係長	辻 本 一 浩
建設部都市計画課長	千 葉 豊

建設部都市計画課係長
建設部建築住宅課主幹
建設部建築住宅課長補佐
建設部建築住宅課係長

水 田 辰 夫
伊 藤 和 博
三 吉 修 司
鎌 塚 誠

(総務部総務課総務係)

第10回 経済建設常任委員会

日 時 平成27年10月8日(木)
本会議終了後
場 所 第一委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶(委員動静)

1 所管からの報告事項について

《総務部》

(1) 滝川市財政健全化計画(素案)について (資料) 財 政 課

《産業振興部》

(2) NPO法人日本で最も美しい村連合への加盟承認について (資料) 産業振興課

(3) 栄町3-3地区再開発事業の進捗状況について (資料) 駅周辺整備課

(4) 発達した低気圧に伴う農業関係被害について (資料) 農 政 課

《建設部》

(5) 発達した低気圧に伴う市営住宅被災状況について (資料) 建築住宅課

(6) 発達した低気圧に伴う被災状況について (資料) 土 木 課

(7) 玉穂橋コンクリート擁壁倒壊について (資料) 土 木 課

(8) 下水道使用料の異議申立てに関する対応について (資料) 都市計画課

2 その他について

3 次回委員会の日程について

○ 閉 会

第10回 経済建設常任委員会

H27.10.8 (木)本会議終了後
第一委員会室

開 会 10:19

委員長 第10回経済建設常任委員会を開会いたします。

委員動静報告

委員長 委員動静ですが、委員は全員出席。正副議長に出席いただいております。委員外議員として清水議員、傍聴として館内議員、安樂議員、木下議員が出席しております。

1 所管からの報告事項について

委員長 それでは、所管からの報告事項について、(1)、滝川市財政健全化計画(素案)についての説明を求めます。

(1) 滝川市財政健全化計画(素案)について

千田副市長 それでは、財政健全化計画の策定に向けまして各常任委員会に報告させていただいておりますが、市長にかわりまして一言ご挨拶させていただきたいと思っております。

これまで滝川市は、大変厳しい財政状況の中、さまざまな手法を用いて財政健全化を図るべく推進してきたところでございますが、一時的な財政効果は上げたものの、歳入の減少や時代の要請による事業費の増加などにより、継続的な財政効果を発揮できない状況にございます。特に毎年の予算協議において各種事業のあり方などを協議してまいりましたが、計画的な終期設定や事業効果の検証が図られず、事務事業の見直しがなかなか進んでこなかったことが大きな要因でございます。直面する厳しい財政状況を打開し、安定した財政運営を行うためには、事務事業や組織機構のあり方を見直さなければならず、本計画の策定に踏み切ったところでございます。財政健全化の素案の策定につきましては、本年3月より各所属における事業の見直しを開始し、内部協議をもって素案を決定し、9月下旬には各党派への説明を行ってきたところでございます。本計画のもととなります中期財政フレームの平均収支不足見込み額は、5年間で平均5億円の収支不足となることを見込まれていますが、これを改善していくためには大きく3点を計画の柱として位置づけたところであり、事務事業の見直しと組織、人件費の見直し、歳入の確保対策を基本としています。とりわけ事務事業の見直しにおいては少なからず市民サービスに影響を与えるものでございますが、身の丈に合った持続可能な財政運営は喫緊の課題であり、本計画を推進していくことで安定した財政運営に転換を図ってまいりまして、持続可能な滝川市へと発展していくことにつながりますので、各委員の皆様におかれましては格段のご理解とご協力をお願い申し上げまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。

堀 課 長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。

質疑に入る前に、本件は総務文教常任委員会と厚生常任委員会が所管する部分もありますので、本委員会の所管する部分のみの質疑を受けたいと思います。それでは、質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長 清水委員外議員。まず、質疑の内容について伺います。

清水委員外議員 資料13ページ、(イ)、④、住宅改修支援事業に係る市単独補助分の見直しについて、この見直しという文言の意味しているものがどの程度のものなのか。またこの事業を見直すことによる弊害といったことについて伺います。

委員長 清水委員外議員から質疑の内容について説明がありました。質疑を許可してよろしいですか。

(異議なしの声あり)

委員長 それでは、2分間以内で質疑を許可します。

清水委員外議員 この事業の見直しということで、ここでは最終的に一定の経過措置を設けるといって表現で結んでいますが、経過措置後、耐震改修以外はゼロにするということなのか、それとも、等という言葉が入っているので、耐震改修以外も継続することも含めて検討されるのか。2点目は、事務概要では耐震改修の件数は6件、全数が72件ということで、これでいえばほとんど件数としてはなくなるというようなことを見通しているのか。3点目は、最終的にどの程度の一般財源の歳出減を見込んでいるのか。4点目は、この事業については効果が認められ、また高いということで全国的に定着し、さらに進んでいるという事業ですから、幾ら聖域なきとはいえ、この廃止の与える影響というのは多大だろうと思うのですが、他の補助金等を活用できれば存続するとか、あるいはできなくても一定限度まででとどめるとかという考えはないのか伺います。

高橋部次長 4点のご質疑について、総体的にお答えをさせていただきますけれども、まず耐震改修を含めて検討を行うのかということをございますけれども、これは等ということに記載しておりますので、今後具体的な検討を進めていきたいと考えております。

それから、効果がある事業というご指摘もあるのですが、基本的には11ページに記載しているような事業の見直しの視点を基本といたしまして、全体的な見直しを図っていききたいということでございますので、全体的に今後予算協議の中で具体的な協議を進めさせていただきたいということで考えております。特に住宅改修につきましては、社会資本整備総合交付金が対象にならない項目が出てきたというようなことも見直しの視点の一つに入っているのかなと思っておりますけれども、その部分だけではなくて、全体的に含めた中で検討を進めていききたいと思っております。ただ、財政健全化計画の中では、事業の終期というものをきちんと定めていくということの基本としておりますので、その部分についてある程度行った事業については検証を行って、そして終期を定めていくということで考えております。

清水委員外議員 まず、一般財源はどの程度削減を目指しているのかというのが1点目。もう一つは、耐震改修は6件しかないのです。等というのはどういった改修を残そうということを検討されるのか、具体的に伺います。

高橋部次長 一般財源の削減額でございますけれども、前段ご説明したとおり、これから予算協議の中で協議をさせていただきたいと思っております。

それから、耐震改修等というのは、等の中にはバリアフリーですとか、あと住宅の品質の向上というようなものも含まれていると思っておりますけれども、その部分の具体的な項目についても今後検討させていただきたいと思っております。

委員長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みとします。
 暫時休憩します。

休 憩 10 : 44
 再 開 10 : 46

委員 長 それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。
 (2)、NPO法人日本で最も美しい村連合への加盟承認についての説明を求め
 ます。

(2) NPO法人日本で最も美しい村連合への加盟承認について
 (別紙資料に基づき説明する。)

壽崎係長 説明が終わりました。
 委員 長 質疑ございますか。

 (なしの声あり)

委員 長 それでは、報告済みとします。
 (3)、栄町3—3地区再開発事業の進捗状況についての説明を求めます。

(3) 栄町3—3地区再開発事業の進捗状況について
 (別紙資料に基づき説明する。)

丸藤課長補佐 説明が終わりました。
 委員 長 質疑ございますか。

山 本 今回、非常に事業が進んだという報告を受けて、安心しているところでありま
 すけれども、アーケードの関係について、ベルロード沿いの鈴蘭中央商店街の
 持ち物であるということで、買い取り、撤去ということでありますので、この
 事業費の中で買い取りという部分は、アニム滝川のほうでどの程度買い取り費
 用を計画されているのか、わかれば教えていただきたい。

丸藤課長補佐 まだアニム滝川と鈴蘭商店街のほうで現在交渉中であること、またアーケード
 の買い取り費用は、本市の補助メニューにおいて補助の対象外となっております。
 これらの理由から、アニム滝川と鈴蘭中央商店街の民間対民間という関係
 もありまして、幾らになるとかということは、申し上げられないということをご
 理解賜りたいと思います。

委員 長 ほかに質疑ございますか。

荒 木 解体は当初区域と拡大区域と、当然お金がついている、ついていないとかがあ
 るので、ずれると思うのですけれども、当初区域がいつごろがめどで、拡大区
 域がいつごろがめどというのがわかれば教えてください。

丸藤課長補佐 今のところまだ正式には決まっておりませんが、旧高林デパートのほうは当初
 からの計画どおり平成28年度に解体、新たに加わりました区域においては、ど
 ういう配分になるか未定でございますが、早くても29年度。というのは、国へ
 の補助金の交付申請においても名店ビルのほうが含まれておりませんでしたの
 で、こちらの分においては、平成28年度に着手するのは難しいかと考えており
 ます。

委員 長 ほかに質疑ございますか。

副委員 長 先ほどのアーケードの関係ですけれども、鈴蘭中央商店街は、このアーケード
 の残債処理で非常にご苦労されていたと思います。そういう中で、残債も相当
 まだあるのでないかと思っておりますけれども、そういう部分も含めての話し合い、
 金額は別として、そういうことを含めての交渉というようなことになっていく
 のですか。そういう計画があるのかお伺いします。

丸藤課長補佐 金額の話は先ほど山本委員にお答えしたとおりですけれども、鈴蘭中央商店街のほうでアーケードの建設費用の借り入れがまだ残っているということは、市としても承知しております。基本的には鈴蘭中央商店街のほうの問題ですけれども、現在償還期限が平成31年度末までであるということ、また約定の償還期限、返済期限に向けて鈴蘭中央商店街のほうも一生懸命努力なさって返済を続けておられるということは承知しております。今回は民間対民間ですけれども、市の立場といたしましては、平成31年度の償還期限までに予定どおり償還が終わるよう、商店街のほうとも調整を図ったり、協議を続けていきたいと思っております。

委員 長 ほかに質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員 長 清水委員外議員。まず、質疑の内容について伺います。

清水委員外議員 事業区域の拡大に伴って、先ほどのご説明であれば駐車場等にされるような、新たな事業者がいなくてもできるようなご説明もございましたので、その場合の補助金の適用等について伺いたいと思います。

委員 長 清水委員外議員から質疑の内容について説明がありました。質疑を許可してよろしいですか。
(異議なしの声あり)

委員 長 それでは、2分間以内で質疑を許可します。

清水委員外議員 拡大区域が仮に新たな事業者募集ということではなくて、第1期の2事業者がいますが、この事業者の共有部分というのは、補助金対象になるのかということでお聞きしたいのです。まず解体費、整地費、そして駐車場を設置したり、公園など、そういったものを設置した場合にこの優良建物の補助対象にどこまでなるのか。また、そうした場合、当然第1期の事業者の負担になってくるわけですが、そういったことは第1期の事業者は可能というような話し合いも進められているのか。2点目として、それと並行して第2期の事業者の募集というものも行っていくのか。つまり現時点では2種類の計画を並行させて進めるというような、最終的にはどちらかを選ぶのでしょうかけれども、そういったこれからの方向性について伺います。

加地課長 まず、1つ目の拡大区域の部分で補助対象云々という、どこまでということですが、こちらにつきましては、解体費だとか整地費、駐車場の整備だとか広場とかの公共的通路の部分、こちらについては補助対象にはなるという形での認識ですので、清水委員外議員の言われたどこまでというのがどういう意味だったかというのが質疑としてはわからなかったもので、この答弁とさせていただきます。2つ目として、2者の認識はということで、事業参画者が2者いらっしゃるかもしれませんが、こちらの方々については今事業区域が拡大になりましたので、それぞれの方々に配当計画、どこにどういう建物を建てて、敷地はどの程度必要かということを現在調整を図っているということで、アニム滝川のほうで行われていると。その上において、仮に必要面積以外のところが発生するということになった際には、当然事業計画を練り直すという話になりますので、第三者の事業参画者がいらっしゃるのか、いらっしゃらないのかを募集していくのか、いかないのか、これも当然アニム滝川としての取締役会等での機関決定を経て、手続を進めていくというような理解をしているところです。

委員 長 ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みとします。

(4)、発達した低気圧に伴う農業関係被害についての説明を求めます。

(4) 発達した低気圧に伴う農業関係被害について

高橋課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みとします。

暫時休憩します。

休 憩 11:07

再 開 11:08

委員長

それでは、休憩前に引き続き会議を再開いたします。

次に建設部の関係ですが、(5)と(6)の順を入れかえさせていただきます。

まず、(6)、発達した低気圧に伴う被災状況についての説明を求めます。

(6) 発達した低気圧に伴う被災状況について

山崎課長

(別紙資料に基づき説明する。)

委員長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

副委員長

予想以上に今回被害があったのでないかなと思うのですが、こういう災害というか、被害のときに災害対策本部が通常設置されると思いますが、今回はそういう対応があったのか。もう一つ、環境維持管理協同組合に協力を要請するということですが、どのような形で、どのようなときにどういう連携をとる約束になっているのか伺います。

山崎課長

今回の強風に関しましては、対策本部という部分の設置はされておられません。ただ、防災危機対策室と連絡をとりながら、また气象台等も情報収集をしながら、事前にいろいろな情報を集めながら待機して進めてきた経過がございます。それと、滝川環境維持管理協同組合につきましては、平成24年度にこういった災害のときに協力をしていただけるような協定を結んでおります。その協定に基づきまして今回は要請いたしまして、迅速な対応をしていただいたという状況でございます。

副委員長

これからも大型台風が予想されているのだけれども、対策本部が設置されないときに、防災危機対策室が音頭をとるという仕組みになっているのか。土木課が今回いろいろ対応したようだが、農業被害などいろいろとあると思うのだけれども、こういうときの体制はどうのようになるのか伺います。

山崎課長

防災危機対策室がそういった部分を取りまとめるところです。今回につきましても、いろいろな会議を開きまして、その中で実施しているというところで、当然庁議も開いております。

委員長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みとします。

次に(5)、発達した低気圧に伴う市営住宅の被災状況についての説明を求めます。

(5) 発達した低気圧に伴う市営住宅被災状況について

鎌塚係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。
質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。
(7)、玉穂橋コンクリート擁壁倒壊についての説明を求めます。
(7) 玉穂橋コンクリート擁壁倒壊について

辻本係長 (別紙資料に基づき説明する。)

委員長 説明が終わりました。
質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員長 清水委員外議員。まず、質疑の内容について伺います。

清水委員外議員 8月のお盆のときの豪雨によってコンクリート擁壁が倒壊したということなのか、倒壊の要因についてもう少し詳しくお聞きをしたいと思います。

委員長 清水委員外議員から質疑の内容について説明がありました。質疑を許可してよろしいですか。
(異議なしの声あり)

委員長 それでは、2分間以内で質疑を許可します。

清水委員外議員 資料中の状況及び原因の2つ目ですが、コンクリート擁壁の裏側に降雨により路面を流れた雨水が集中的に浸透し、盛り土の土圧が異常に大きくなり、基礎部分から倒壊したものと考えられる。徐々にたまったということではないと思いますが、お盆前後の豪雨がありこのときに大きくなって、いつ倒壊したということが想定されるのか。9月1日に陥没を発見しているわけで、陥没の直前に倒壊したと思いますが、そういったようなことを確認できるのか伺います。

辻本係長 最終的にはっきりと確認した日にちは7月中旬ということで、発生はそれ以降でありますので、清水委員外議員のお話にあります8月19日は、24時間雨量で12.5ミリと、その雨が直接の原因になったかというのは定かではありません。

清水委員外議員 事前の委託業者による7月の確認、これは目視でどの程度の確認、調査がされたのか、具体的にお伺いします。

辻本係長 7月の委託業者による確認は、橋梁のコンクリート擁壁の点検等の確認ではありません。その附属のガードレールの草刈り作業を実施したときに、異常は確認されなかったということです。

清水委員外議員 擁壁というのは、荷重を支える構造部分です。そういう点で、チェック項目に入っていないということなのか、確認します。

辻本係長 日常の点検の項目には入ってはおりません。ただ、橋梁の長寿命化計画を策定して進めていく中で、平成23年にはその部分は点検を行っております。また今回は橋梁の部分ですけれども、道路附属物のコンクリート擁壁については、平成26年度に全て実施しております。

委員長 ほかに質疑ございますか。
(なしの声あり)

委員長 それでは、報告済みとします。
(8)、下水道使用料の異議申し立てに関する対応についての説明を求めます。
(8) 下水道使用料の異議申し立てに関する対応について

大平部長 このたびの下水道使用料に係ります異議申し立てにつきまして、第3回定例会

開会中の大変お忙しい中ご審議いただきましたことに対してお礼申し上げますとともに、さまざまご心配をおかけしたことにおわびを申し上げます。示されました答申内容を真摯に受けとめまして取り進めております今の現状と、異議申し立てに対しまして棄却として決定をいたしました。その決定の理由の概要につきまして、所管課長よりご報告申し上げます。

千葉課長
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

報告が終わりました。

質疑ございますか。

東 元

異議申し立てに関する規則の改正、改善に向けて作業中ということですが、大体のめどの日程を伺います。

千葉課長
委員長

今作業に入っておりますが、遅くとも年内には改正したいと考えております。ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、報告済みとします。

2 その他について

委員長

それでは、2、その他について、委員から何かございますか。

(なしの声あり)

委員長

事務局から何かございますか。

(なしの声あり)

3 次回委員会の日程について

委員長

それでは、3、次回委員会の日程については正副委員長に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

委員長

以上で第10回経済建設常任委員会を閉会いたします。

閉 会 11 : 36